



平成25年3月29日導入 高規格救急自動車トヨタハイメディック DMAT、災害等にも対応できるよう各種設備、医療機械を装備しています。

### 患者さんの権利

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利      | 5 常に人としての尊厳を守られる権利             |
| 2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利               |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利         | 7 繼続して一貫した医療を受ける権利             |
| 4 プライバシーが守られる権利             | 8 生活の質(QOL)や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

### CONTENTS

① 新任の挨拶 院長

副院長

統括診療部長

② 放射線治療について

③ 入学して1ヶ月経って

④ うれしのあつたかまつり

⑤ 地域医療連携室長に就任して

⑥ 外来診療担当医表／編集後記

基本理念 「ひとり一人を大切に」



## 新任の挨拶

院長 河部 庸次郎

新緑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、私、4月より古賀前院長の後継として、国立病院機構嬉野医療センター院長を拝命しました。古賀先生の存在が非常に大きく、その後を引き継ぐには私一人では少々力不足かもしれないと思っています。しかしながら、古賀先生が10年間かけて創りあげた嬉野医療センターという財産があります。また、幸いにも副院長、統括部長をはじめ主要な院内の幹部が私を支えてくれるので、きっとうまくやっていけると確信しております。また、皆様方嬉野医療センターに関わる全ての方々の暖かいご支援のお陰で、当院はこれからも歩を進めていけるものと思っております。嬉野医療センターは平成16年の独立行政法人化にともなって、古賀前院長が「信頼と心のゆとり」という病院理念を掲げ、今日まで成長して参りました。この「信頼と心のゆとり」はそのまま私も含めた当院職員の心の中に焼き付いています。古賀前院長の基本理念を心に残したまま、今回、新たに基本理念を掲げることにいたしました。「ひとり一人を大切に」を当院の基本理念として掲げようと考えています。医療の効率化やマニュアル化、ガイドラインに沿った医療など全てが大切なことですが、中でも最も大切なことは、患者さんひとりひとりを大切にすることであり、職員一人一人を大切にすることであると思っています。この「ひとり一人を大切に」は当院に關係する全てのひとを大切にしていきたい、との思いで掲げました。今後は、この理念を元に当院の職員が全員、周囲を大切にし、また、大切にされるよう努力していきたいと思っています。

さて、当院は昭和20年12月に国立嬉野病院としてスタートしていますが、木造だった病棟は、昭和43年に改築が着手され同47年に外来管理棟を竣工し現病院の本体が完成しています。したがつて、現在の嬉野医療センターの病院本体は既に40年以上が過ぎており一部増築等々での対応を行ってきましたが、今後は新築を考慮すべき時期を迎えていました。おりしも、嬉野新幹線駅の建設と九州新幹線西九州ルートの開通に向けて、嬉野新幹線駅周辺を中心とした嬉野市の活性化プランの策定中に当院の新築移転の話が持ち上がりました。平成30年の春を目標に嬉野医療センターの新築移転計画が策定され、現在、スケジュールに従って順次進めているところです。院内では新病院への自由な発想でのアイデアや希望等を募っており、これまでになかった様な新しい病院が建てられればと考えています。また、当院は地域医療支援病院として医療連携を図り、地域医療をリードしながら地域完結型医療の確立に寄与することが求められています。新病院においても、当院の役割を十分に發揮できるような医療環境を創りあげられるように検討していきたいと思います。勿論、患者さんの健康を守ることが当院の最大の目標であり、これまで以上に地域の医療の先生方と連携を図って、ともに患者さんの健康を守る砦として貢献できる様努力していきたいと考えています。何とぞ、これまで以上のご支援を頂ければ幸いに存じます。



## 副院長就任にあたって

副院長 岡 忠之

平成25年4月1日付けで嬉野医療センター副院長を拝命いたしました。副院長就任にあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

私は、国立嬉野病院から独立行政法人国立病院機構の1つとして、新たな一步を踏み出した日の、平成16年4月1日に長崎大学病院から嬉野医療センターへ外科部長として赴任してきました。外科の活性化と手術症例の増加を、最初の仕事として取り組むと同時に、初代の地域医療連携室長として、当院と近隣の医療機関との懸け橋の役割を開始しました。幸い近隣の医師会の協力を得て、紹介率・逆紹介率や大型医療機器の共同使用の実績に代表されるように、地域医療連携は進み、また手術症例は増加し、それなりの成果が得られたと思っています。同年12月には統括診療部長となり、診療部の活性化とチーム医療の推進を努力目標として、多職種の協力を得て地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院の指定、ICUの再編成、救命救急センターの開設、災害医療拠点病院の指定など、病院の新たな組織作りを行いました。当院の組織としての大きさから、これらの“箱作り”にはかなりのエネルギーが必要でしたが、どうにか関係者のご理解とご協力を得て、箱は完成したと思っています。ここに改めて職員の皆様と関係者に御礼申し上げます。

さて、今回は副院長という大役を引き受けることになり、その責任の重大さを痛感しています。これから副院長としての仕事ですが、病院の経営基盤の安定化、医療安全の確保、また副校长として附属看護学校の円滑な運営はもちろんですが、これまで作ってきた“箱”の中、即ち医療の質の向上と、臨床研修医に充実した研修期間を提供できるように努力していきたいと思っています。

今年の4月から平成30年の新病院建設にむけて、病院全体が動き出しました。患者さんと職員に優しい環境を備えた、また機動性に富んだ病院の建設を目指したいと思います。これまで行ってきたことと比べにならないような大事業であり、これを完遂するには大きなエネルギーを注がなければなりません。しかし、考えようによつては、めったに経験することができない“わくわく・ときどきの大プロジェクト”的始まりです。皆さんのがんばりを結集し、職員一丸となって、夢のある新病院の建設にむけて進んでいきましょう。

今後の嬉野医療センターの更なる発展を目指して、皆さんとともに頑張るつもりです。職員の皆様、また近隣の医療機関のスタッフの皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。



## 新任の挨拶

統括診療部長 力武 一久

本年4月より統括診療部長になりました力武です。佐賀大学から嬉野医療センターへ赴任して10年になりますが、これまで心臓血管外科の治療に専念というか没頭してきました。この病院の特徴は、救急医療に対し全ての診療科が積極的であり、24時間の拘束体制で対応してくれます。また、診療科の垣根が低く、毎日が医局でカンファレンスをしているような風通しの良さが素晴らしいと感じています。

さて、統括診療部長とは何ぞや、何をすれば良いのか？1ヶ月以上経過した今でも自問自答の毎日です。まずは、診療部全体のコミュニケーションや医療安全などを中心に取り組みたいと考えております。未曾有の東日本大震災やそれに続発した原発事故を経験し、我々人間の想定が如何に浅薄であるか痛感しました。医療にも通ずるものがあり、個人と組織が共有する想定をどれだけ拡大できるかに医療水準や医療安全がかかっているように思います。こういう点で病院運営に少しでも貢献できればと考えております。

拡大鏡で細い血管（冠動脈）ばかりを見ていた私には、まずは視野を広げることが大切なようです。今後ともどうか宜しくお願い申し上げます。



## 放射線治療について

放射線科 平川 浩一

がんという病気は、いまや、日本人の2人に1人が患う時代になりました。

それに伴って、手術や薬物治療とならび、がん治療の3本柱といわれる放射線治療も、近年急速に普及し、新規がん患者様の3割に用いられるようになっています。

いっぽう欧米先進国では、放射線治療はがん患者様の6割に用いられており、まだまだ、多くの患者様が、その恩恵にあずかっていないことも事実です。

この理由にはいくつかあげられます、そのなかの一つとして、放射線治療専門医の不足、さらには、放射線治療施設および専門医の大都市圏への偏在化が原因としてあげられます。

佐賀県においては、10年前まで専門医はわずか1人、5年前によく3人となり、現在は6人となりました。常勤で放射線治療専門医がいる施設は、2013年3月までは佐賀市に2箇所(佐賀大学、県立病院好生館)でしたが、専門医増加に伴い、4月より県内3箇所目として、小生が嬉野医療センターに赴任いたしました。

また、治療機器の更新工事のため、約半年間、患者様にはご迷惑をおかけいたしましたが、この5月より、新しい機器がいよいよ稼動いたします。その性能は、佐賀県内においては随一であり、九州においてもトップレベルであると考えます。

これに伴い、佐賀県西部や長崎県北部地区の患者様に、より安全で質の高い放射線治療を提供できる環境は整いました。

放射線治療の特徴として、①病気を治すことから症状を緩和することまで、目的が幅広いこと、②治療後も機能や形態をある程度維持することが可能であり、治療に伴う生活の質の低下が最小限に抑えられること、③全身的な身体への負担が少ないことから、外来通院が可能であること、が挙げられます。このため、今後ますます多くの患者様が、その恩恵にあずかっていくことになると思われます。

ただし、環境が整備されたとしても、実際に治療を受けられるのは患者様御本人であり、放射線治療を受ける目的や効果、副作用について正しく理解していただくことが、安全で質の高い放射線治療を遂行するうえで欠かせません。

技師、看護師、クラークを含めた私達放射線治療スタッフは、患者様の病気や治療内容、副作用、生活について、患者様と共に考え、共に悩み、共に喜び、たまに助けていただきながら、治療を受けられたことが、患者様の幸せにつながることを目指し努めていく所存ですので、どうぞよろしくお願いします。

最後に、この夏より、鳥栖で重粒子線治療センターが本格稼動する予定です。嬉野医療センターは、協力施設として、適応の相談や紹介を行っていきますので、お気軽にご連絡いただければと考えます。



VARIAN 社製 CLINAC iX とマルチリーフコリメーター



## 入学して1ヶ月経つ

61回生 永吉 春奈

私は親族に医療関係者が多く、幼いころから医療に興味を持っていました。また、姉が看護師をしており、様々な話を聞いていくうちに私も看護師となり少しでも困っている人の援助を行いたいと思うようになりました看護の道に進みました。

本校に入学して1ヶ月が経ち、まだまだ分からぬことだらけではあります、入学当初から比べると学校生活にも大分慣れてきました。私たちのクラスは、「協調性を高める」と「基礎知識を身につける」という2つの大きな目標を決め、

日々の生活の中でも自分の意見をはつきりと言え、他人の考えにも耳を傾けるよう心掛けながら勉強に励んでいます。

また、4月の下旬には嬉野の町の散策に行きました。私たちのクラスには10名ほどしか佐賀出身の生徒がおらず、嬉野についてもほとんど何も知らなかっただけ、町内散策をすることにより嬉野の豊かな自然や人々と触れ合い様々な良さを知ることができました。これを機に、もっと嬉野について知りたいと思いました。

これから3年間、嬉野の自然とともに患者さんの気持ちに寄り添うことの出来る看護師となれるよう勉学に励んでいこうと思います。



嬉野温泉の冬の風物詩となったうれしのまつりが今回も平成25年1月25日から2月17日まで開催されました。

今年は天候にも恵まれ、期間中商店街の通りには高さ2mの華灯籠100基（全国から公募した入賞俳句掲載）や手作りランタンなどともし、週末は豊玉姫神社で郷土芸能やだご汁などのあったかふるまい、湯遊広場で温泉湯どうふの販売などおこなわれました。

日曜の昼間には温泉蒸しなども。また芸妓の踊りや、あったか御膳や百円茶屋、温泉入浴半額券など商店飲食店や旅館、芸能組合でもあたたかい協賛イベントが行われ、

訪れた人々は和の灯りにともされた街並みを楽しみながら嬉野温泉を満喫していました。



## 地域医療連携室長に就任して

地域医療連携室長 宮園 正之

新年度が始まり、嬉野医療センターは河部新院長のもと新体制がスタートいたしました。気持ちも新たに皆様方におかれましてもいいスタートが出来ていることと推察いたします。

さて、4月1日より地域医療連携室長を拝命いたしました宮園正之です。私が嬉野医療センターに赴任したのは平成17年12月1日ですので、早7年5ヶ月となりました。その間地域医療機関の皆様方には大変お世話になりこの場をお借りして御礼申し上げます。有り難うございました。その恩返しとしては憚られますが、微力ながら皆様方と嬉野医療センターの橋渡し的な仕事ができればと思っております。

地域医療連携室長は岡先生はじめ、須田先生、古市先生、力武先生の後ですから私で5代目になります。先代の先生達の努力と地域医療機関の皆様方の温かいご支援により、嬉野医療センターは地域完結型の中核病院に成長して來たと自負しております。これからは今まで通りの路線を引き継ぎながら、細かいところにも気を配れる地域医療連携室にしていきたい所存です。かゆいところに手が届くような室長でありたいと思います。それで、叱咤激励の言葉（苦情なども）はいつでも受け付けますし、今後このような点を改善して欲しい等のご要望がありましたらご遠慮なく申し付けてください（内線662宮園まで）。これからも嬉野医療センターをどうぞ宜しくお願い申し上げます。

**嬉野医療センター・外来診療担当医表**

区分		月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	副島 佳文・佐々木英祐	中野 浩文	副島 佳文・由良 博一	佐々木 英祐	中野 浩文・由良 博一
消化器内科	午前	北山 素 白石 良介(消化管) 磯田 広史(肝臓)	網田 誠司(消化管) 有尾 啓介(肝臓) 森崎 智仁(消化管)	大石 敬之(消化管) 北山 素 森崎 智仁(肝臓)	網田 誠司(消化管) 白石 良介(消化管) 有尾 啓介(肝臓)	大石 敬之(消化管) 磯田 広史(肝臓)
循環器内科	午前	逸見 朋子 山元 美美	室屋 隆浩 三輪 高士	山元 美美	室屋隆浩(ベースメーカー) 山元 美美(第1・3) 三輪 高士(第2・4)	三輪 高士
心臓血管外科	午前		力武 一久・池田 和幸	力武 一久		力武 一久・池田 和幸
糖尿病・膠原内科	午前		田中 史子	安西 慶三(糖尿病のみ) (第2.3.4.5週)	田中 史子	
リウマチ科	午前			荒武 弘一郎	荒武 弘一郎	田中 史子
神経内科	午前	長岡 篤志		溝田 貴光		溝田 貴光
腎臓内科	午前	野中 康徳	力武 修一(整形で診察) 斧沢 幸司(整形で診察)		力武 修一(整形で診察) 斧沢 幸司(整形で診察)	野中 康徳
血液内科	午前					安藤 寿彦
小児科	午前	小野 晋康 佐藤 忠司	西川 小百合 乳児検診(完全予約制)	佐藤 忠司 循環器外来 第1・3木曜(診察14時~16時)	一ノ瀬 文男 小児腎臓外来 第2木曜	古賀 大介 大串 栄彦
	午後	小野 晋康 (診察14時~16時)		内分沁外来 第3木曜 久野 建夫(第3木曜日) 小児アレルギー第4木曜 (診察14時~16時)		
外科	午前	岡 忠之 (呼吸器外科・乳腺外科)	近藤 正道 (呼吸器外科・乳腺外科)	荒木政人(消化器外科)	柴崎 信一(消化器外科) 佐藤綾子(一般外科、乳腺外科)	郡家 堅史(一般外科)
	午後	岡忠之・近藤正道(乳腺外来) (診察13時半~15時)				
整形外科	午前	川口 耕平・久芳 昭一 古畑 友基	小河 賢司・杉山健太郎 井上 拓馬	古市 格・川口 耕平 杉山健太郎	小河 賢司・久芳 昭一	古市 格・井上 拓馬 古畑 友基
脳神経外科	午前	前田 善久	宮園 正之		宮園 正之	前田 善久
皮膚科	午前	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	大久保佑美(新患) 大仁田亞紀(再来)	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	大久保佑美(新患) 大仁田亞紀(再来)	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)
泌尿器科	午前	谷口 啓輔(再来) 林田 靖(新患)	谷口 啓輔(新患) 林田 靖(再来) 計屋鉢信(第1.3.5木曜日)		谷口 啓輔(新患) 林田 靖(再来)	谷口 啓輔(再来) 林田 靖(新患)
	午後		予約外来		予約外来	
婦人科	午前	松脇 隆博	松脇 隆博		一瀬 俊介	一瀬 俊介
	午後	梶村 慈	一瀬 俊介	助産外来(9時~15時半) (完全予約制)	松脇 隆博	梶村 慈
産婦人科	午前	母乳外来(13時半~15時半) (完全予約制)	助産外来(13時半~15時半) (完全予約制)	母乳外来(13時半~15時半) (完全予約制)	助産外来(13時半~15時半) (完全予約制)	
	午後					
眼科	午前	佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)		佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)
	午後	桂 資泰(再来) 前田耕太郎(新患)	桂 資泰(再来) 前田耕太郎(再来)	桂 資泰・前田耕太郎 (診察13:00~16:00)	桂 資泰(再来) 前田耕太郎(再来)	桂 資泰(再来) 前田耕太郎(新患)
耳鼻咽喉科	午前	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一
	午後	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一	福井健一郎・牧野 謙二 福田 雅敏・平川 浩一
放射線科	午前	香月 亮・石川亜佐子	香月 亮・石川亜佐子			香月 亮・石川亜佐子
麻酔科ペインクリニック	午前	藤原 純祐・山住 和之	藤原 純祐・山住 和之	藤原 純祐・山住 和之	藤原 純祐・山住 和之	藤原 純祐・山住 和之
救急科(8:30~17:15)						

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようお願い致します。  
(当院の受付時間は午前8時30分~午前11時00分迄です。)

内科系	第2・第4木曜日はベースメーカー外来を行っています。 毎週木曜日の午後(13時~14時)は禁煙外来(保険診療外)を行っています。(予約受付14時~16時) ★予約制
小児科	毎週月・金曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付14時~16時) 毎週火曜日の午後は乳児健診(完全予約制) ■第1・3水曜日の午後は循環器外来(受付13時~16時) ★予約制
外科	毎週月曜日の午後は母乳外来(13時半~15時半) (完全予約制)
整形外科	毎週火曜日の午後は小児アレルギー外来(受付14時~17時まで) ★完全予約制
泌尿器科	毎週第2木曜日の午後は小児腎臓外来(受付時間13時~16時) ★予約制
産婦人科	毎週月曜日の午後は乳腺外来を行っております。(受付時間12時半~13時半) ご紹介は整形外来宛でお願いします。
耳鼻咽喉科	急救患者については救急室にて対応しております。 毎週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。
麻酔科	毎週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。(受付時間13時30分~15時30分) 毎週水曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付時間13時~16時) 毎週第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、挿聴器外来を行っています。 ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合はこの限りではありません。

2013.6.2

平成25年度が始まりました。嬉野医療センターも新しい体制でのスタートとなりました。  
新病院建設設計画も、これからどんどん具体性を増していきます。  
広報誌「うれしの」は進化する「嬉野医療センター」の情報を、皆様へお届けして参ります。  
本年度もよろしくお願ひいたします。